

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 11月 7日

【ホーム概要（ホーム記入）】

ホーム番号	3474400409		
法人名	社会福祉法人 安那福祉会		
ホーム名	グループホーム サンサンホーム		
所在地	広島県福山市神辺町字東中条 610番地16 (電話) 084-967-1033		
自己評価作成日	平成24年8月20日	評価結果市町受理日	

※ ホームの基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成24年9月24日

【ホームが特に力を入れている点、アピールしたい点（ホーム記入）】

<p>当施設は、周囲を緑に囲まれた自然豊かな環境にあります。四季折々の情景が楽しめる中で入居者一人ひとりの認知症に合わせた対応を行い、少しでも認知症の進行緩和に努めています。食事に関しても、味・見栄えも考えながら一人ひとりに合った食事形態を考えながら口から食べることを大切にしています。</p> <p>2ユニット12人と入所者も通常より少なく、ゆったりとした空間で、全職員がゆっくり・のんびりと関わり、入居者の持てる力が発揮できるよう努めています。また、職員が少しでも長く働けるよう、希望休や希望勤務帯に合わせた勤務を考え、雇用の安定を図っています。</p>

【外部評価で確認したホームの優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホームサンサンホーム（以下、ホーム）は、福山市の北部に位置し、近くに寺や公園があり、四季折々の自然を感じられる恵まれた環境にあります。母体法人は、ホームと同じ建物で入所・通所サービス等を包括的に提供されています。入口前には、スタッフの似顔絵が貼ってあり、共有スペースは広くゆったりとしています。1ユニットは6人、入居者は家庭的な雰囲気の中で寛がれています。ホームは常時開放され、入居者は雨天でも建物内を自由に散歩できる環境にあります。廊下を散歩中、知人から声をかけてもらい会話がはずむ様子を、職員は笑顔で見守られています。終末ケアについては、家族、医療機関、職員が連携し、これまでの看取りケアの経験をふまえながら入居者に寄り添った支援と努力を重ねておられます。さらに、スタッフが経験を積みながら長く働くことができる職場環境づくりに努めておられます。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	
I 理念に基づく運営（あおぞら）					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえたホーム理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	運営理念をいつでも見れるよう掲示板や事務所に張り、職員の言動の基本としている。	職員と一緒に考えた「一人ひとりを大切に」を理念とし、どの位置からも見えるように共用スペースに掲示してあります。職員は理念を共有し、入居者一人ひとりの今の思いを大切に考え支援されています。入居者の話を傾聴し、帰宅願望があれば、職員全員が同じ対応ができるように言葉かけも統一されています。	
2	2	○ホームと地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、ホーム自体が地域の一員として日常的に交流している。	立地上の問題から日常的に交流は難しいが、夏祭り・カラオケ大会等地域の行事への参加や地域のボランティアの受け入れ等を随時行っている。	町内会には加入されていませんが、町内の行事案内から情報を得て夏祭りやカラオケ大会、敬老会などに参加されています。建物内の地域交流スペースで保育園児に肩たたきをしてもらうなどの交流を楽しんでいます。また、地域の中学生の職場体験も受け入れています。	
3		○ホームの力を活かした地域貢献 ホームは、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	面会時、外出、手紙、運営推進会議等を通じて家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回開催する会議ではGrでの取組み、状況報告などを行っている。地域の方々の意見を聴きながらサービス向上に取り組んでいる。	会議は、2か月ごとに開催されています。メンバーは家族代表、地域包括支援センター職員、町内会長、公民館館長、民生委員と職員です。会議では外部評価結果の報告や看取りの事例の紹介なども議題としてあげるなど、意見交換が行われています。また、地域包括支援センターの支援事例を用いて勉強会も行われています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、ホームの実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日常的に連絡を取り合っていないが介護保険の更新の際や書類を提出する際などに情報交換を行っている。	市には必要に応じて報告や相談をし、連携を図られています。また、困難事例があれば、地域包括支援センターに相談されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>グループホーム入口は施錠していない。また身体拘束も行っていない。</p>	<p>施設全体の玄関は夜間のみ施錠しますが、ホームの入口は常時開錠し、入居者は建物内を自由に行き来できます。歩行が難しい入居者の要望には、家族と相談し職員間で意識統一をして歩行を見守られています。その場合は、安全を考慮し、死角をなくするなどの工夫をして危険防止に努めておられます。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅やホーム内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>職員研修・ユニット会等を通じて取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>パンフレット等で学ぶ機会はあるも取り組みは不十分である。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に説明している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情があった場合などは苦情対応表に記入し管理者に報告。運営推進会議にも報告している。また現場職員には連絡帳に記入し報告をするうえ、ユニット会で職員全員で協議、検討し運営に反映するようにしている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置されています。入居者、家族からの苦情はほとんどありません。面接時に家族の要望や希望があれば、その都度対応されています。ホームでは、毎月の請求書送付時に、入居者の近況を添えて送っておられます。また、法人全体で年4回「さんさん便り」を発行し、担当職員の異動など早めに家族に報告することで安心してもらうように配慮されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>チーフ会、ユニット会、個別面談などで職員の気づきや提案を生かす機会を設けている。</p>	<p>定期的なミーティングや個人面談を行い、職員の意見を聞かれています。職員からは福祉用具購入や入居者のケアに関する意見や提案などがあります。他部署から新しく異動した職員からの意見に気づくことも多くあり、運営に反映されています。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個別面談を行うなど、働きやすい環境作りに勤めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>経験年数に応じた研修や外部研修への参加機会を設けている。また、ユニット会で研修を行い個々の職員の知識・技術の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>外部研修等での情報交換の機会を設けている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居申込時や入居前面接等、入居前に本人と話を聞く機会を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>本人との信頼関係同様、申込時や面接等で、家族と話を聞く機会を設けている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居申込時や入居前面接等、入居前と本人、家族と話を聞く機会を設けている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日常的に一緒に家事を手伝ってもらうなど生活の主体者として捉えている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>職員だけで対応できない時などは家族が対応して下さる。面会時に情報交換をし、本人と家族・職員のより良い関係が作れるようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>地元出身者も多く併設の特養やデイサービス、ケアハウス等で馴染みの場所へ出向いたり、今までの馴染みのある人と接する機会を設けている。</p>	<p>行きつけの美容院へ行ったり、受診の帰りに商店へ買い物に行き、馴染みの店員との会話を楽しまれています。地元の入居者が多く、施設内の売店へ買い物に行く人や、建物内を散歩するなど、ケアハウスの入居者と会う機会を設けておられます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者同士での助け合いや言葉のやり取りを見守り、入居者間の関係が円滑に進むよう職員が間に入り、会話や作業のサポートを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	お亡くなりになった後も関係が続いている家族もいる。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者一人ひとりの思いや意向の把握に勤めている。困難な場合は、ご家族の意向などを踏まえている。	意思表示の困難な入居者は、家族から聞き取ったり、モニタリングから意向を把握したり、その人らしい暮らしができるよう取り組まれています。日々のケアの中で「外食に行きたい」「美味しいものが食べたい」という希望があり、家族の同意を得て外食に出かけた事例もあります。今後も入居者の要望を聞き、実現に向けて取り組む方針を持たれています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	現在生活歴シートを作成し少しでも馴染みの暮らし方、生活環境の把握に努めている。家族からこれまでの生活歴について聞くなどしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ケース記録などを使い、一人一人の一日の過ごし方、心身状況の等の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者に必要なケアが提供されているかを確認しながら、家族との面会やユニット会などで意見を聞き計画作成を行っている。</p>	<p>介護計画の作成はチーフが担当しています。職員が日々のケアの中で気づいたことを報告し、家族の要望を確認しながら話し合って作成されています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日常の様子をケース記録に記入し、見直しに活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるためのホームの多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>デイサービスへ参加したり、ケアハウスと交流する等実施している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>十分ではないが本人にあった地域の行事など活用している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医とホームの関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ病院との連携を密にするとともに、協力病院との連携を図り、いつでも対応できるよう関係作りを行っている。</p>	<p>入居前のかかりつけ医を継続して受診されています。ホームの職員が受診の支援をされ、入居者の状態によっては家族も同行されます。投薬のみの場合は、家族対応を基本とされています。年1回、歯科医の往診があり、治療が必要な場合は往診か家族対応かを話し合って決められます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>看護師は常駐していないが、併設施設の看護師、かかりつけ病院の看護師と連携を取っている。カンファレンス時、医療的な対応についても話し合っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した時には状況確認を、面会や病院関係者に聞く等して確認している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、ホームでできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>家族や医師と早い段階から相談しホームのできる範囲を伝え、対応が難しい場合は受け入れ可能な他施設探している。本人・家族の意向を大切に、ホームでの最期をされる場合、できる限り穏やかな暮らしが送れるよう支援します。</p>	<p>家族や医師と話し合い、可能であれば看取りを行う方針です。これまで、ホームで看取りの経験があります。家族との連携を綿密に行い、家族の協力を得て一緒に過ごしてもらうことで苦しみや痛みのない支援に取り組まれました。職員の精神的ケアにも配慮されています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>研修を行うとともに個別の留意事項の確認を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>法人合同の防災訓練に参加し、防災意識の高揚を図っている。地理的に地域の人々の協力は即座には望めないが、地区消防署や地域ボランティアへの協力要請に心掛けている。また、災害想定非常食の炊き出し訓練をしています。</p>	<p>法人全体で、年2回防災訓練を行っています。夜間を想定した訓練を行い、建物内の他施設の応援で全員避難されました。ホームにはスプリンクラーを設置し、法人全体で食料の備蓄をされています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
想定					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	できるだけ一人ひとりに合った言葉かけ、対応を行っている。	入浴時は同性介助をされています。排泄時にはさりげない言葉で誘導し、入居者の人格を尊重したケアが行われています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者が自己決定できるよう本人が解る声掛けの工夫等自己決定しやすい環境作りをサポートしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員のペースではなく、一人ひとりのペースにを大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	服の選択等はできるだけ本人にお願いするようにしている。理美容は施設内の美容院や馴染みの美容室を利用されている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	できるだけ一人で思うように食べられるように食事形態を工夫したり、好みについても出来る限り希望に沿うように提供している。食事の準備・片付けは職員・利用者と一緒にしている。	法人の栄養士が献立を立て、食事はホームで手作りされています。栄養面も考慮して、食事が少ない入居者には好みの味付けで食欲を増す工夫をされています。入居者と職員は和やかに会話をしながら食卓を囲んでおられました。また、希望により、外食を楽しむこともあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>できるだけ一人一人の状態に合わせた食事形態を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後一人一人にあった口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一人ひとりの排泄リズムに応じて，出来だけトイレでの排泄をしていただく。</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンに合わせて声かけや誘導をされています。座位が可能な入居者は日中トイレでの排泄を支援されています。自立の入居者も，間隔が空いているような場合は，声かけを行っています。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防に運動や水分補給に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入居者の体調や希望により，入浴時間を特に定めずゆっくり入浴できるよう入浴支援している。</p>	<p>入居者の希望があれば，毎日入浴支援を行っています。また，入浴の順番は入居者の意向により変更するなど，ゆっくり入ってもらうために臨機応変に対応されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	入居者の生活のリズムを尊重しながら、必要な場合には職員より昼寝の声掛けを行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の内容をケース記録にファイルしていつでも確認できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人一人にあわせた形で、役割、嗜好品、楽しみ事、気分転換を提供している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の希望にできるだけ添えるよう支援している。また随時外出する機会を設けている。	インフルエンザの流行時は外出を控えておられますが、暖かい日は入居者の体調を考慮しながら日向ぼっこを楽しめます。受診の帰りに買い物をしたり、ドライブに出かけたり、外出の機会を設け気分転換が図れるように支援されています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	本人が管理にしているお金については自由に使ってもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人が希望された時には、電話をかけていただいている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居者本人の所有物、入居者や職員が作った物などを飾ったりして生活感、季節感を出した共有空間づくりを行っている。	リビングには、塗り絵や貼り絵など入居者の作品が掲示してあります。散歩で摘んだ花がテーブルに飾ってあり季節感があります。ソファの横に足を置くための三角のソファが置かれ、下肢の浮腫予防に一役かっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	入居者同士の相性などを考慮しながら一人一人に過ごしやすい場所の提供を行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室に今まで使っていた家具などを入れて、馴染みの物を活かし、その人らしく暮らせるよう個々の居室作りに努めている。	入居者と家族が相談しながら生活しやすいように家具を配置されています。自宅から使い慣れた鏡台や、布団を持ち込む入居者もあり、居心地良く過ごせるように工夫されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレに張り紙を張ったり、よく見える場所に洗濯物を干すなどして分かりやすい居住空間の提供を行っている。		

V アウトカム項目（あおぞら）			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営（たいよう）					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	運営理念をいつでも見られるように掲示板や事務所に張っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	立地上の問題から日常的に交流は難しいが、夏祭り・カラオケ大会等地域の行事への参加や地域のボランティアの受け入れ等を随時行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	面会、外出、運営推進会議などを通じて家族や地域の人々に理解してもらえるように取り組んでいる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議の議題内容はGrでの取組み、状況報告などを行っている。地域の方の意見を聴きながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日常的に連絡を取り合っていないが介護保険の更新の際や書類を提出する際などに情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	Gr入口は施錠していない。また身体拘束も行っていない。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	職員研修等を通じて取り組んでいる。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	パンフレット等で学ぶ機会はあるが取り組みは不十分である。		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約時に説明を行っている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	苦情があった場合などは苦情対応表に記入し管理者に報告している。連絡帳、運営推進会議にも報告している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>チーフ会を利用したり、個別面談等の機会を設けている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個別に面談を行う等して働きやすい環境作りに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>経験年数に応じた研修や外部研修への参加機会を設けている。また、ユニット会で研修を行い個々の職員の知識・技術の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>外部研修等での情報交換の機会を設けている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居申込時や入居前面接など、入居前にも話を聞く機会を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前面接、また入居後でも話を聞く機会を設けている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居申込時や入居前面接など、話を聞く機会を設けている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日常的に一緒に家事を手伝ってもらうなど生活の主体者として捉えている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>職員だけで対応できない時などは家族が対応して下さる。面会時に情報交換をし、本人と家族・職員のより良い関係が作れるようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。</p>	<p>入居する以前、利用されていたケアハウスやデイサービス・短期入所等併設施設等馴染みの場所や馴染みの人と接する機会を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者同士での助け合いや言葉のやり取りを見守り、入居者間の関係が円滑に進むように職員が間に入り、会話や作業のサポートを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	十分ではないが実施している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の思いを大切にし、本人を中心に、本人の希望や困っている事の状態把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	現在生活歴シートを作成し少しでも馴染みの暮らし方、生活環境の把握に努めている。家族からこれまでの生活歴について聞くなどしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ケース記録などで、一日の過ごし方、心身状態等の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>家族には面会時、職員にはユニット会などで意見を聴き計画作成を行う。 家族、入居者また職員と情報交換を綿密に行う。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日常の様子をケース記録に記入し、見直しに活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>デイサービスへの参加したり、ケアハウスと交流するなど実施している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>十分ではないが地域資源を活用している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>かかりつけ病院との連携を密にし、いつでも対応できるよう関係作りを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>看護師は常駐していないが、併設施設の看護師、かかりつけ病院の看護師と連携を取っている。カンファレンス時、医療的な対応についても話し合っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した時には状況確認を、面会や病院に聞くなどして確認している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>家族や医師と早期から相談し事業所でできる範囲について伝えて、対応が難しい場合は受け入れ可能な他施設を探している。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>研修を行うとともに個別の留意事項などの確認を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>施設全体の防災訓練に参加し、防災意識の高揚を図っている。地理的に地域の人々の協力は即座には望めないが、地区消防署や地域ボランティアへの協力要請に心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	できるだけ一人一人に合った言葉かけ、対応を行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者が自己決定できるよう本人が解る声掛けの工夫など自己決定しやすい環境作りをサポートしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	職員のペースではなく、一人一人のペースを大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	服の選択等はできる限り本人にお願いするようにしている。理美容は施設内の美容院や馴染みの美容室を利用されている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	できるだけ一人で思うように食べられるように食事の形態を工夫したり、好みについてもできる限り希望に沿うように提供している。食事の準備・片付けは職員、利用者で一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>できるだけ一人一人の状態に合わせた食事形態を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後に一人一人に合った口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>出来るだけトイレでの排泄が出来るように一人一人の排泄リズムの把握に努めている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>便秘予防に運動や水分補給に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入居者の体調や希望により入浴支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>入居者の生活リズムを尊重しながら、必要な場合には職員より昼寝の声掛けを行っている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬の内容をケース記録にふあいるしていつでも確認できるようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>一人一人に合わせた形で、役割、嗜好品、楽しみ事、気分転換を提供している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>本人の希望に出来るだけ添えるよう支援している。また、随時外出する機会を設けている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>本人が管理しているお金については自由に使ってもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人が希望される時には電話をかけていただいている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居者本人の所有物、入居者や職員が作った似顔絵や飾りを飾ったり、季節に応じた花をいけ生活感、季節感を出した共有空間づくりを行い、心を和ませよう努めています。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>入居者同士の相性などを考慮しながら一人一人に過ごしやすい場所の提供を行っている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には今まで使っていた家具などを入れて個々の居室作りを行うよう努めている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレに張り紙を張ったり、よく見える場所に洗濯物を干すなどして分かりやすい居住空間の提供を行っている。</p>		

V アウトカム項目 (たいよう)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム サンサンホーム

作成日 平成 24 年 11 月 15 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	日常の介護でプライバシーの保護を心がけているが, 十分には行えていない。	相手の立場になって考え, 入居者のプライバシーに配慮した介護を行う。	排泄時, トイレのドアを閉めたり, 入浴時体にタオルをかけるなど, きめ細かい配慮をする。	6 か月
2	2	立地上, 地域との関わりが持ちにくく, 施設からの働きかけが必要とされる。	地域資源を十分に活用して情報交換し, 出かける機会を提供していく。	地域行事・外食・買い物などの外出を継続したり, 施設内でのボランティア訪問で地域との交流をはかる。	1年
3	38	入居者への対応や声かけなど, 一人ひとりのペースに合わせるようにはしているが, 職員の対応に差がある。	一人ひとりのペースに合った支援ができるよう, 職員の関わりを高める。	ユニット会・研修・現場の介護の中で職員が関わり方を見直しスキルアップできるようにする。	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。